## カリキュラムの概要

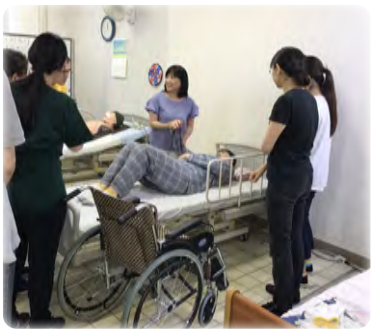
| コース名 | 対象者 | 定員 |
|---|---|---|
| 10月開講介護初任者 | 健康で学ぶ意欲があり、訓練修了後、取得した資格を活かし就職に就ける方。 | 20名 |

| コース内容 | 訓練時間 |
|---|---|
| 福祉支援の専門家としての知識、技術、技能を習得し、高齢者・障害者の自立支援の担い手として広い視野と総合力を合わせ持った知識を習得することを目標とする。<br>介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、訪問介護事業所等介護施設全般への就職を目指す。 | 9:00～16：20<br>(1日6時限) |
| | 施設見学 |
| 修了で得られる資格 | 募集期間中随時(平日)<br>要電話/WEB予約 |
| 介護職員初任者研修課程修了証明書、同行援護従事者養成研修課程修了証明書 | |

| | 科目 | 教科 | 内容 | 時限 |
|---|---|---|---|---|
| 学科 | 法定講義 | 職務の理解 | 多様なサービスの理解、介護職の仕事内容や働く現場の理解 | 6 |
| | | 介護における尊厳の保持・自立支援 | 人権の尊厳を支える介護、自立に向けた介護 | 9 |
| | | 介護の基本 | 介護職の役割、専門性と他職種との連携、介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全 | 6 |
| | | 介護・福祉サービスの理解と医療の連携 | 介護保険制度、障害者総合支援制度及びその他制度、医療との連携とリハビリテーション | 9 |
| | | 介護におけるコミュニケーション技術 | 介護におけるコミュニケーション、介護におけるチームコミュニケーション | 6 |
| | | 老化の理解 | 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴、高齢者と健康 | 6 |
| | | 認知症の理解 | 認知症を取り巻く環境、医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理、認知症に伴う心とからだの変化と日常生活、家族への支援 | 6 |
| | | 障害の理解 | 障害の基礎的理解、障害の医学的側面、生活障害などの基礎知識、家族の心理、かかわり支援の理解 | 3 |
| | | 基本知識の学習 | 介護の基本的な考え方、介護に関するこころのしくみの基礎的理解、介護に関するからだのしくみの基礎的理解 | 12 |
| | | 生活支援技術の講義 | 生活と家事、快適な居住環境と介護<br>整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護、移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄・睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護、死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 | 18 |
| | 振り返り | 振り返り | 介護についての要点<br>研修を通して学んだこと、継続的に学ぶこと | 4 |
| | 修了評価 | 修了評価 | 筆記試験（介護職員初任者研修事業実施要項に基づく全科目筆記試験） | 1 |
| | 法定講義 | 同行援護従事者養成研修一般課程 | 外出保障、視覚障害の理解と疾病、視覚障害者（児)の心理、視覚障害者（児)福祉の制度とサービス、同行援護の制度、同行援護従業者の実際と職業倫理、情報提供、代筆・代読 | 12 |
| | | 同行援護従事者養成研修応用課程 | サービス提供責任者の業務、様々な利用者への対応、個別支援計画と他機関との連携、業務上のリスクマネジメント、従業者研修の実施、同行援護の実務上の留意点 | 6 |
| | 復習 | 復習 | 復習 | 16 |
| 実技 | 法定演習 | 生活支援技術演習 | 生活と家事、快適な居住環境と介護、こころとからだのしくみと自立に向けた介護（整容、移動・移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、睡眠）終末期介護 | 39 |
| | | 総合生活支援技術演習 | 介護課程の基礎理解、総合生活支援技術演習 | 12 |
| | 法定演習 | 同行援護従事者養成研修一般課程 | 誘導の基本技術、誘導の応用技術(場面別・街歩き)、交通機関の利用 | 16 |
| | 復習 | 復習 | 復習 | 11 |
| 就職支援 | マナー接遇 | | マナー接遇 | 6 |
| | キャリアコンサルテイング | | 会社説明会、ジョブカード記入方法、求人情報収集方法、就職先選定・就職活動の助言、就職先企業の選定、面接対策、履歴書・職務経歴書の作成、キャリアコンサルテイング | 12 |

## 授業風景

授業では実務経験の豊富な講師がわかりやすく説明をしながら学習します。
初めての方でも安心して学習を進めることができます。



## 感染対策

ドアや窓を開放し定期的な教室の換気を徹底しています。
また、マスク着用および検温と記録の徹底、エントランス・各フロアごとにアルコール消毒液を設置するなど、感染症防止のための対策を取っています。